

第 I 章 吉川市の概況と特性

第1章 吉川市の概況と特性

1. 市の概要

(1) 位置

吉川市は、首都 25 km圏内にあり、埼玉県南東部に位置します。

(2) 地理・地形

東西約 4.2 km、南北約 8.0 km、面積 31.62k m²となっています。

東は江戸川を隔てて千葉県野田市と流山市、西は中川を挟んで草加市、越谷市、南は三郷市、北は松伏町に接しています。

地形は、海拔約 4.2m のほぼ平坦な沖積低地であり、自然堤防と後背湿地で構成されています。

(3) 気候

関東平野に位置し、気候が温暖で、自然災害が少ない恵まれた自然環境にあります。

(4) 沿革

江戸時代の新田開発による早稲米の産地として発展し、中川を利用した舟運も盛んに行われ、吉川河岸は、大正末期まで資源の集積地として栄えました。

明治4年から埼玉県に属し、明治22年の町村制施行により、吉川村、旭村、三輪野江村が誕生しました。大正4年には、吉川村が「吉川町」として町制を施行し、昭和30年に吉川町、旭村、三輪野江村の1町2村が合併し、現在の市域が定まり「吉川町」が誕生しました。

昭和48年には、武蔵野線吉川駅が開業し、それともなう吉川団地の整備などにより、昭和50年に人口が3万人を超えました。その後も土地区画整理の施行などにより人口の増加は続き、平成3年には人口が5万人を突破し、平成8年4月1日に「吉川市」として市制を施行しました。

2. 健康に関する概況

市の健康に関する概況を(1)人口構成 (2)死亡 (3)介護保険 (4)後期高齢者医療 (5)国保の状況 (6)特定健康診査等 (7)出生の項目に分け、国・県・吉川市のデータを一覧表にまとめ(表1)、それぞれの項目ごとに分析しました。

表1 吉川市の健康に関する概況

項目		国		埼玉県		吉川市			
		人数	割合	人数	割合	人数	割合		
1	人口構成 H22年国勢調査	総人口	128,057,352 人	—	7,194,556 人	—	62,663 人	—	
		0～14歳	16,803,444 人	13.2%	953,668 人	13.3%	9,458 人	15.1%	
		15～64歳	81,031,800 人	63.8%	4,749,108 人	66.3%	41,712 人	66.6%	
		65歳以上	29,245,685 人	23.0%	1,464,860 人	20.4%	11,493 人	18.3%	
		(再掲)75歳以上	14,072,210 人	11.1%	586,882 人	8.2%	4,011 人	6.4%	
65歳健康寿命	男性			16.74		16.19			
	女性			19.68		19.99			
2	死亡 H22年 人口動態調査	死亡原因	死因	死亡率 (10万対)	死因	死亡率 (10万対)	死因	死亡率 (10万対)	
		1位	悪性新生物	279.7	悪性新生物	240.1	悪性新生物	212.9	
		2位	心疾患	149.8	心疾患	134.3	心疾患	121	
		3位	脳血管疾患	97.7	脳血管疾患	80.4	肺炎	85.8	
		4位	肺炎	94.1	肺炎	77.6	脳血管疾患	47.5	
	5位	老衰	35.9	自殺	23.1	自殺	27.6		
	早世予防からみ た死亡 (64歳以下)	合計	176,549 人	14.7%	10,084 人	18.2%	101 人	23.0%	
3	介護保険 介護保険事業 状況報告 吉川市はH22年度 国・県はH21年度	要介護認定者数	4,845,942 人		190,511 人		1,409 人		
			人数	割合	人数	割合	人数	割合	
		1号被保険者認定	4,696,384 人	16.2%	182,201 人	12.8%	1,298 人	11.1%	
		2号被保険者認定	149,558 人	0.35%	8,310 人	0.34%	111 人	0.49%	
介護給付費	総額	1人あたり	総額	1人あたり	総額	1人あたり			
	6,328,280,695,000 円	218,842 円	239,537,255,000 円	167,693 円	2,034,430,861 円	179,815 円			
4	後期高齢者医療 H22年度後期高齢者 医療状況報告	加入者	14,059,915 人		577,403 人		3,893 人		
	一人あたり医療費	904,795 円		826,809 円		916,560 円			
5	国保の状況 H22年度 国保中央会 H22年度 国民健康保険事業 状況	被保険者数	35,849,071 人	—	2,099,316 人	—	20,101 人	—	
		うち65～74歳	11,222,279 人	31.3%	661,808 人	29.6%	5,578 人	27.7%	
		一般	33,851,629 人	94.4%	1,991,992 人	94.9%	19,366 人	96.3%	
		退職	1,997,442 人	5.6%	107,324 人	5.1%	735 人	3.7%	
		加入率	28.0%		29.2%		31.0%		
		医療費総額 (一般+退職)	医療費	1人あたり	医療費	1人あたり	医療費	1人あたり	
			10,730,826,914,577 円	299,333 円	568,797,990,545 円	270,944 円	5,378,538,009 円	266,370 円	
		一般	9,981,583,067,737 円	294,863 円	530,952,763,339 円	266,544 円	5,074,978,337 円	261,233 円	
		退職	749,243,846,840 円	375,102 円	37,845,227,206 円	352,626 円	303,559,772 円	396,810 円	
			治療者数	全受療者に 占める割合	被保険者数に占 める割合	治療者数	全受療者に 占める割合	被保険者数に占 める割合	治療者数
	虚血心疾患						177	1.1	0.9
	脳血管疾患						161	1.0	0.8
	脂質異常症						706	4.5	3.5
	糖尿病						695	4.40	3.5
	高血圧症						2,393	15.2	12.0
	人工透析						65	0.4	0.3
6	特定健康診査等 H22年度	受診者数	7,169,761 人		417,752 人		3,455 人		
		受診率	32.0%		32.3%		29.3%		
		保健指導実施率	20.8%		16.0%		35.9%		
7	出生 H22年度	出生数	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
			1,071,304	8.5 (人口千対)	59,437	8.4 (人口千対)	569	8.8 (人口千対)	
		低体重児(2500g未満)	103,049	9.62 (出生百対)	5,661	9.53 (出生百対)	50	8.79 (出生百対)	
	極低体重児(1500g未満)	8,086	0.75 (出生百対)	392	0.66 (出生百対)	4	0.70 (出生百対)		

* ○ は、国や県と比較して値に差があるところ。

(1) 人口構成

吉川市の人口構成を全国、埼玉県と比較すると、65歳以上の高齢化率及び75歳以上の後期高齢化率は、いずれも全国や埼玉県より低くなっています。(表1)

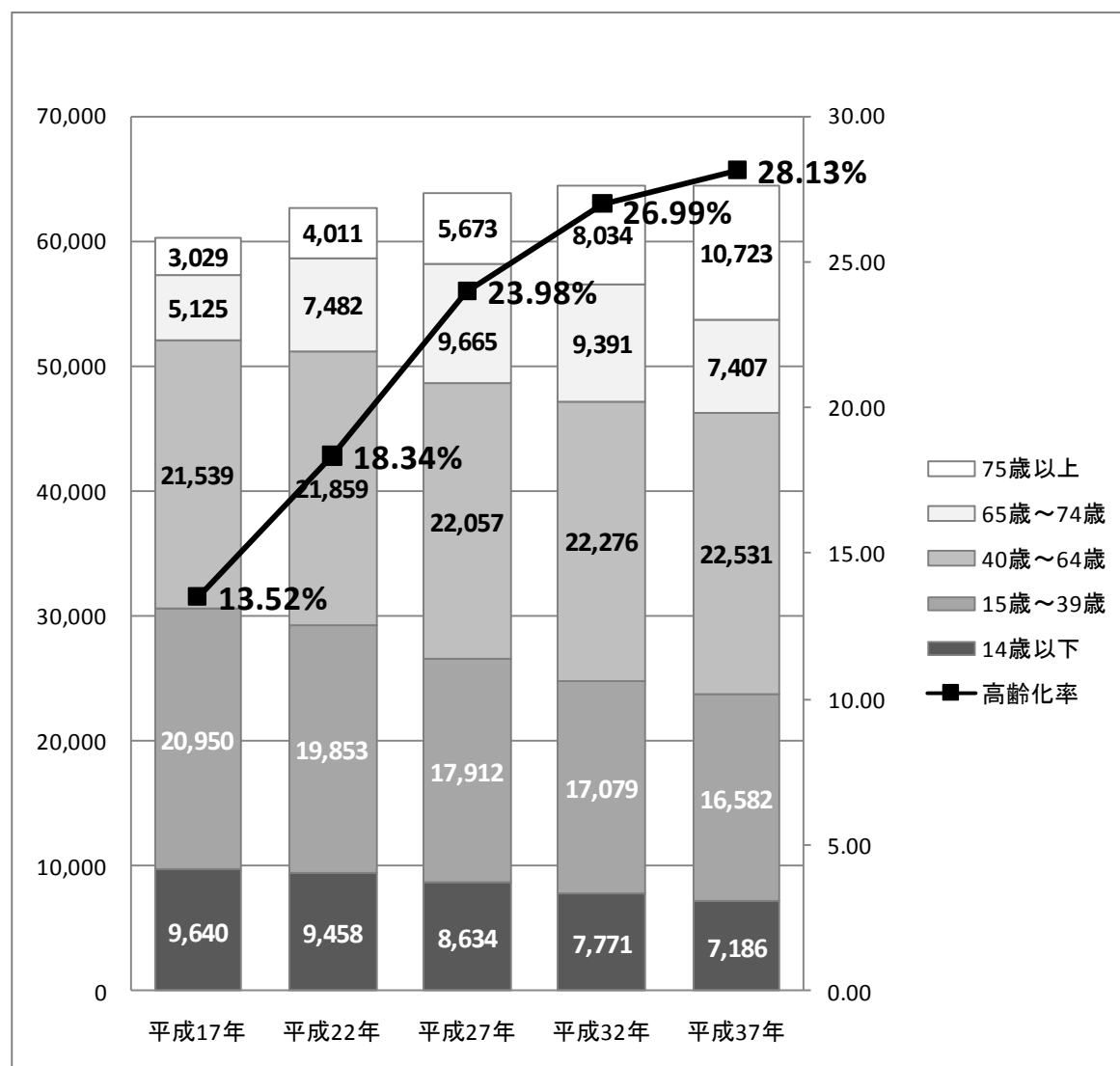
吉川市の人口は、平成17年には60,283人でしたが、平成22年には62,663人となり増加傾向にあります。

人口構成は、64歳以下人口が平成17年から平成22年までの5年間に、959人減少に対して、65歳以上人口は、同期間で3,339人増加しています。

高齢化率は、平成17年には13.52%でしたが、平成22年には18.34%となり、全国(23.0%)や埼玉県(20.4%)に比べて高齢化率は低くなっていますが、高齢化が進展しています。

生産年齢人口(15歳～64歳)・年少人口(0歳～14歳)ともに総人口に占める割合が減少傾向にあり、少子高齢化の傾向がますます強まることが予測されます(図1)。

図1 吉川市の人口の推移と推計



※棒グラフの年齢区分は14歳以下が一番下であり、一番上が75歳以上の順番。

資料：平成17年、平成22年 国勢調査

平成27年、32年、37年 国立社会保障・人口問題研究所「日本の市町村別将来推計人口」
(平成20年12月推計)

(2) 死亡

吉川市の主要死因を、全国、埼玉県と比較すると、1位悪性新生物、2位心疾患までの順位は同じですが、脳血管疾患の死亡率が低くなり、肺炎の死亡率は高くなっています。(表1)

主要死因を平成17年と平成22年で比較すると、生活習慣病である悪性新生物、心疾患、脳血管疾患が、平成17年には60.5%、平成22年は56.6%と、全体の半数以上を占めていますが、割合は減少してきています。なかでも、脳血管疾患における割合が4%低下しています。(表2)

第1次の健康増進計画の目的であった早世(65歳未満)死亡の減少については、平成17年よりわずかに割合が減少していますが、男女ともに全国トップレベルのままです。

(表3) 65歳未満の死亡の内訳としては、悪性新生物が35.6%であり、そのうち男性では大腸がん、女性では乳がんが約4分の1を占めています。(表4)

表2 吉川市の主要死因の変化

年度	平成17年			平成22年			
	人口	死亡者総数	死亡率	人口	死亡者総数	死亡率	
全体	60,283	354	594.8	62,663	440	673.8	
死亡原因	1位	悪性新生物			悪性新生物		
		死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合%	死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合%
		117	196.6	33.1	139	212.9	31.6
	2位	心疾患			心疾患		
		死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合%	死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合%
		58	97.5	16.4	79	121.0	18.0
	3位	肺炎			肺炎		
		死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合%	死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合%
		43	72.3	12.1	56	85.8	12.7
	4位	脳血管疾患			脳血管疾患		
		死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合%	死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合%
		39	65.5	11.0	31	47.5	7.0
	5位	自殺			自殺		
		死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合%	死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合%
		15	25.2	4.2	18	27.6	4.1
	6位	不慮の事故			不慮の事故		
		死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合%	死亡者数	死亡率	全死亡に占める割合%
		11	18.5	3.1	10	15.3	2.3

(死亡率は人口10万対)

資料：埼玉県の健康指標総合ソフト「健寿くん」

表3 65歳未満死亡の割合（都道府県順位と吉川市）

単位：%

順位	総数				（再掲）H22年の男女別割合			
	H17年		H22年		男性		女性	
	吉川市	25.4	吉川市	23.0	吉川市	24.7	吉川市	20.8
1	沖縄	22.9	沖縄	20.9	沖縄	27.5	沖縄	13.3
2	埼玉	22.5	埼玉	18.2	埼玉	22.2	埼玉	13.2
3	神奈川	21.5	千葉	16.9	千葉	21.0	神奈川	12.3
4	大阪	21.4	神奈川	16.8	大阪	20.9	千葉	12.1
5	千葉	21.4	大阪	16.7	東京	20.7	大阪	11.7
6	東京	19.7	東京	16.4	青森	20.5	北海道	11.7
7	愛知	19.6	青森	15.9	神奈川	20.4	東京	11.4
8	北海道	19.0	愛知	15.7	茨城	20.0	愛知	11.1
9	青森	19.0	北海道	15.7	栃木	19.9	青森	10.6
10	福岡	18.4	茨城	15.5	福岡	19.6	栃木	10.4
11	茨城	18.3	栃木	15.4	愛知	19.5	茨城	10.3
12	兵庫	18.2	福岡	15.1	北海道	19.2	福岡	10.2
13	★全国	18.0	★全国	14.8	★全国	18.9	★全国	10.0
14	栃木	18.0	兵庫	14.6	宮城	18.8	兵庫	10.0
15	宮城	17.8	群馬	14.2	兵庫	18.7	静岡	9.7
16	静岡	17.3	宮城	14.1	長崎	18.6	奈良	9.7
17	奈良	17.3	長崎	13.8	群馬	18.5	滋賀	9.5
18	群馬	16.9	京都	13.8	京都	18.2	群馬	9.5
19	滋賀	16.7	石川	13.8	愛媛	18.1	京都	9.3
20	京都	16.6	静岡	13.8	広島	18.1	石川	9.2
21	広島	16.5	滋賀	13.7	石川	18.0	宮崎	9.0
22	石川	16.3	広島	13.6	福島	18.0	岩手	8.9
23	岐阜	16.3	愛媛	13.6	山梨	17.8	宮城	8.9
24	長崎	16.2	岩手	13.5	岩手	17.7	岐阜	8.9
25	鳥取	15.8	山梨	13.4	滋賀	17.7	長崎	8.9
26	宮崎	15.7	福島	13.3	宮崎	17.6	広島	8.8
27	岩手	15.7	宮崎	13.3	鹿児島	17.5	愛媛	8.7
28	高知	15.7	奈良	13.0	静岡	17.5	三重	8.7
29	愛媛	15.6	岐阜	13.0	高知	17.3	和歌山	8.6
30	福島	15.5	佐賀	12.9	秋田	17.1	山口	8.6
31	富山	15.4	三重	12.8	鳥取	17.0	佐賀	8.6
32	三重	15.3	鳥取	12.8	徳島	17.0	鳥取	8.5
33	山梨	15.3	熊本	12.7	佐賀	17.0	山梨	8.5
34	和歌山	15.2	鹿児島	12.7	熊本	16.9	熊本	8.5
35	佐賀	15.2	秋田	12.7	岡山	16.8	福島	8.2
36	山口	15.1	和歌山	12.6	三重	16.7	香川	8.2
37	秋田	14.9	香川	12.5	岐阜	16.6	富山	8.2
38	徳島	14.8	岡山	12.5	香川	16.6	鹿児島	8.0
39	岡山	14.7	高知	12.4	新潟	16.6	秋田	7.9
40	鹿児島	14.6	徳島	12.4	和歌山	16.4	岡山	7.9
41	新潟	14.5	山口	12.4	大分	16.2	福井	7.8
42	大分	14.4	富山	12.3	富山	16.2	大分	7.8
43	香川	14.3	新潟	12.1	奈良	16.0	徳島	7.5
44	福井	14.3	大分	12.1	山口	15.9	高知	7.4
45	熊本	14.2	福井	11.4	島根	15.1	山形	7.4
46	長野	13.6	山形	11.0	福井	14.8	新潟	7.4
47	山形	13.3	島根	10.8	山形	14.4	長野	7.1
48	島根	13.1	長野	10.7	長野	14.2	島根	6.5

資料：人口動態統計

表4 吉川市の65歳未満死亡の内訳（平成22年度）

	男性		女性		総数	
	数	割合	数	割合	数	割合
65歳未満死亡	60		41		101	
悪性新生物	21	35.0%	15	36.6%	36	35.6%
(再掲)						
胃	2	9.5%	1	6.7%	3	8.3%
肺	2	9.5%	2	13.3%	4	11.1%
大腸	6	28.6%	2	13.3%	8	22.2%
乳	1	4.8%	4	26.7%	5	13.9%
子宮	0	0.0%	0	0%	0	0.0%
その他	10	47.6%	6	40.0%	16	44.4%
心疾患(虚血も含)	12	20.0%	4	9.8%	16	15.8%
脳血管疾患	5	8.3%	6	14.6%	11	10.9%
不慮の事故	4	6.7%	1	2.4%	5	5.0%
自殺	9	15.0%	5	12.2%	14	13.9%
その他	9	15.0%	10	24.4%	19	18.8%

○は、割合の高いところ。

資料：埼玉県健康指標総合ソフト「健寿くん」

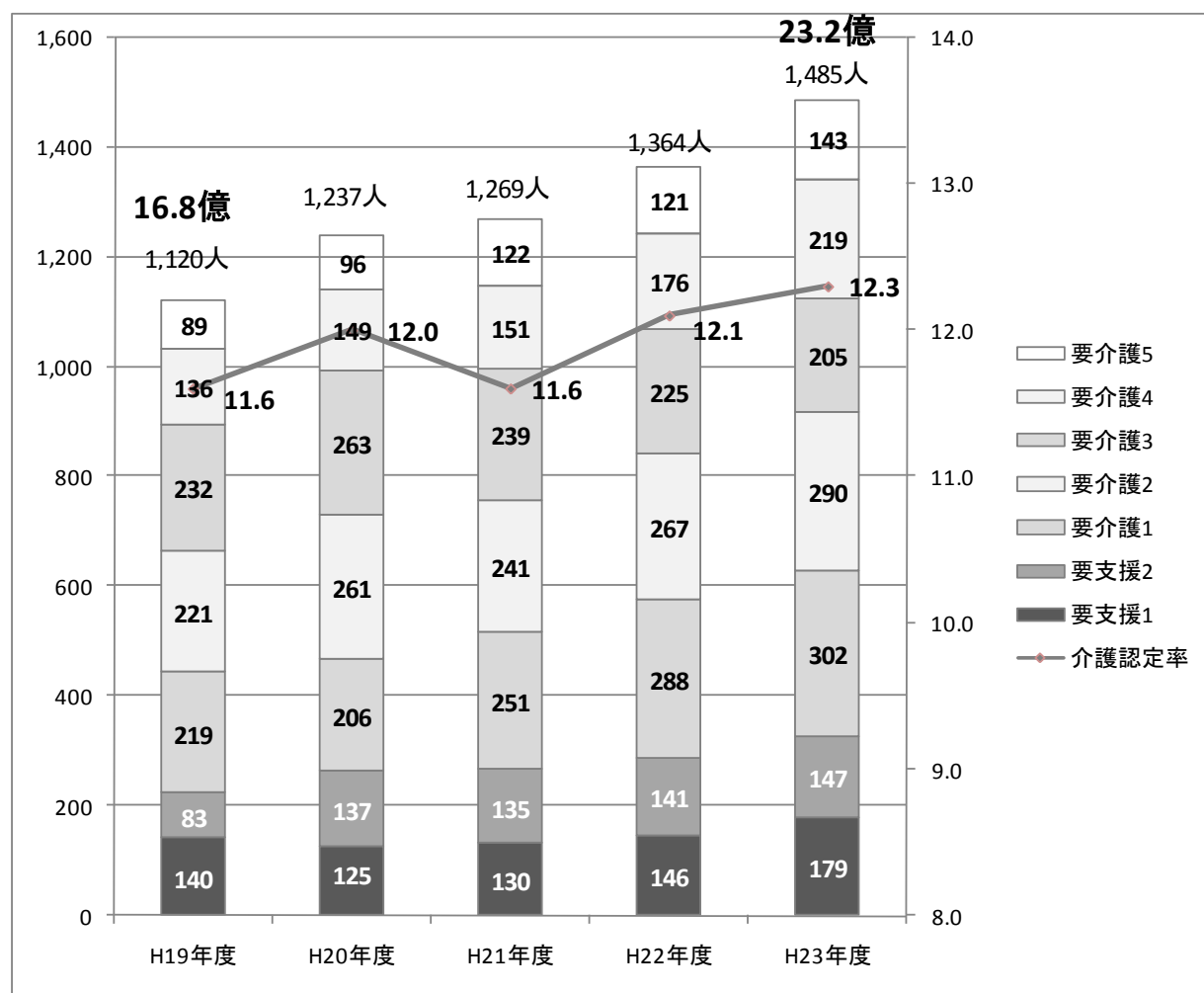
(3) 介護保険

吉川市の介護保険の認定率は、全国、埼玉県と比べ、第1号被保険者は低く、第2号被保険者は高くなっています。(表1)

吉川市の平成23年10月の要介護(支援)認定者数は、1,485人であり、平成19年の1,120人と比べて、413人、約1.38倍に増加しています。

また、介護給付費も16.8億円から23.2億円へと6.4億円、1.44倍に増加しています。(図2)

図2 吉川市の要介護（支援）認定者数及び認定率・介護保険給付費の推移
 (人) (％)



※棒グラフの年齢区分は要支援1が一番下であり、一番上が要介護5の順番。

資料：第5期介護保険事業計画・吉川市健康福祉施策のあらまし

吉川市の要介護（支援）者の認定者総数の内訳は、軽度（支援1～介護2）及び重度（介護3～5）いずれも埼玉県、全国とほぼ同じ割合になっていますが、第2号被保険者（40歳～64歳）の認定者数の割合は埼玉県、全国と比べて軽度認定者がやや多くなっています。（表5）

表5 要介護（要支援）度別認定者数及び割合の内訳（平成22年度）

被保険者総数

総数	合計	軽度					重度				
		支援1	支援2	介護1	介護2	軽度	介護3	介護4	介護5	重度	
吉川市	人数	1,364	146	141	288	267	842	225	176	121	522
	%	100%	10.7%	10.3%	21.1%	19.6%	62.0%	16.5%	12.9%	8.9%	38.0%
埼玉県	人数	201,439	22,694	23,622	38,929	37,071	122,316	30,059	26,748	22,316	79,123
	%	100%	11.3%	11.7%	19.3%	18.4%	60.7%	14.9%	13.3%	11.1%	39.3%
全国	人数	5,062,234	663,528	667,995	906,953	896,617	3,135,093	697,891	637,766	591,484	1,927,141
	%	100%	13.1%	13.2%	17.9%	17.7%	61.9%	13.8%	12.6%	11.7%	38.1%

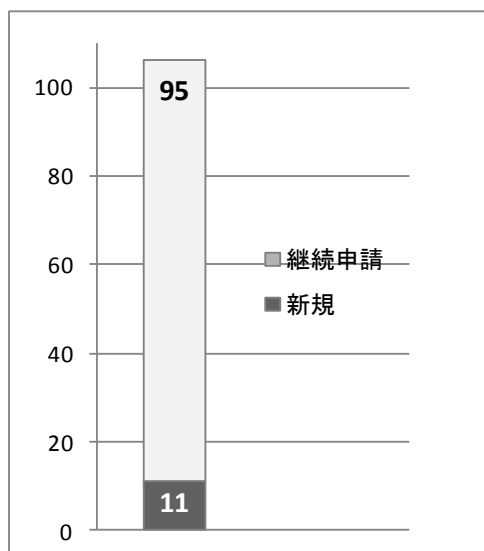
第2号被保険者（40歳～64歳）

2号	合計	軽度					重度				
		支援1	支援2	介護1	介護2	軽度	介護3	介護4	介護5	重度	
吉川市	人数	111	11	15	21	21	68	18	14	11	43
	%	100%	9.9%	13.5%	18.9%	18.9%	61.3%	16.2%	12.6%	9.9%	38.7%
埼玉県	人数	8,538	563	928	1,640	1,870	5,001	1,346	1,073	1,118	3,537
	%	100%	6.6%	10.9%	19.2%	21.9%	58.6%	15.8%	12.6%	13.1%	41.4%
全国	人数	154,795	11,964	20,632	24,479	34,298	91,373	22,633	18,564	22,225	63,422
	%	100%	7.7%	13.3%	15.8%	22.2%	59.0%	14.6%	12.0%	14.4%	41.0%

資料：介護保険事業報告

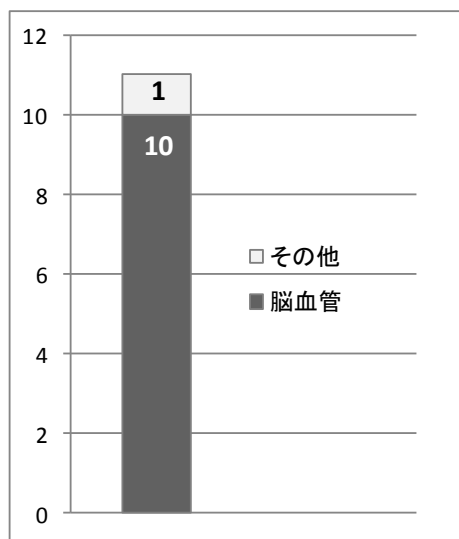
平成23年度第2号被保険者（40歳～64歳）の認定者数は、約1割が新規申請者であり（図3）、その原因疾患のほとんどが脳血管疾患となっています（図4）。

図3 平成23年度 第2号被保険者 要介護（支援）認定者数の内訳



(人)

図4 平成23年度 第2号被保険者 要介護（支援）新規認定者の原因疾患



(人)

資料：介護保険事業報告

(4) 後期高齢者医療

吉川市の後期高齢者（75歳以上）の一人あたりの医療費は、高額になっています。高齢者は加齢に伴う身体機能の低下から様々な慢性疾患が起こりやすく、また、生活習慣病においては継続管理を必要とすることが多くなります。今後高齢化が進むことにより、医療費は増加することが予測されます。発症予防及び重症化予防が可能な生活習慣病については、特定健康診査・特定保健指導（40～74歳）の取り組みをさらに強化し、壮年期からの健康づくりに努めていくことが重要です。（表1）

(5) 国保の状況

吉川市の国民健康保険加入率は、全国及び埼玉県より高くなっています。現在、加入者のうち、前期高齢者（65歳～74歳）と退職者の占める割合は、全国及び埼玉県より低くなっていますが、高齢化が進むことにより、今後はその割合が高くなると予測されます。

一般的に高齢者になるほど、受療率は高くなり、医療費も増大するため、予防可能な生活習慣病の発症予防と重症化予防に努める必要があります。

吉川市の国民健康保険加入者の一人あたりの医療費をみると、全国や埼玉県と比較し一般被保険者は低くなっています。

生活習慣病に関する疾患の治療者の割合は、高血圧が一番多くなっていますが、高血圧が大きい危険因子になる脳血管疾患の死亡率は全国及び埼玉県より低くなっています。高血圧は重症化することにより、脳血管だけでなく心臓の血管にも影響を及ぼし、生活に支障をきたす可能性があるため、高血圧の実態把握を行い、適切な管理や重症化予防の取り組みを行っていく必要があります（表1）。

(6) 特定健康診査等の状況

医療保険者による特定健康診査・特定保健指導は、平成22年度の法定報告で、特定健康診査受診率29.27%、特定保健指導実施率は35.98%であり、いずれも国の目標（健診受診率65%、保健指導率45%）を達成できていませんが、保健指導率は県内2位となっています。（表1）

特定健康診査の結果について、糖代謝、高血圧、脂質異常者の割合はいずれも県平均より低くなっていますが、第1次健康増進計画で吉川市が独自に取り組んだ肥満に関するメタボリックシンドローム該当者は依然と高く、予備群については県内1位となっています。また、腎機能低下の指標になる尿たん白異常者も県平均より高い状況です。（表6）

いずれも食生活との関連も深い検査項目であるため、食の実態を分析し、今後の保健指導の内容について、検討が必要になります。

年齢別の受診者の状況をみると、受診者が増えているのは60歳以上であり、40歳代から50歳代の受診者が少ないことがわかります。（図5）

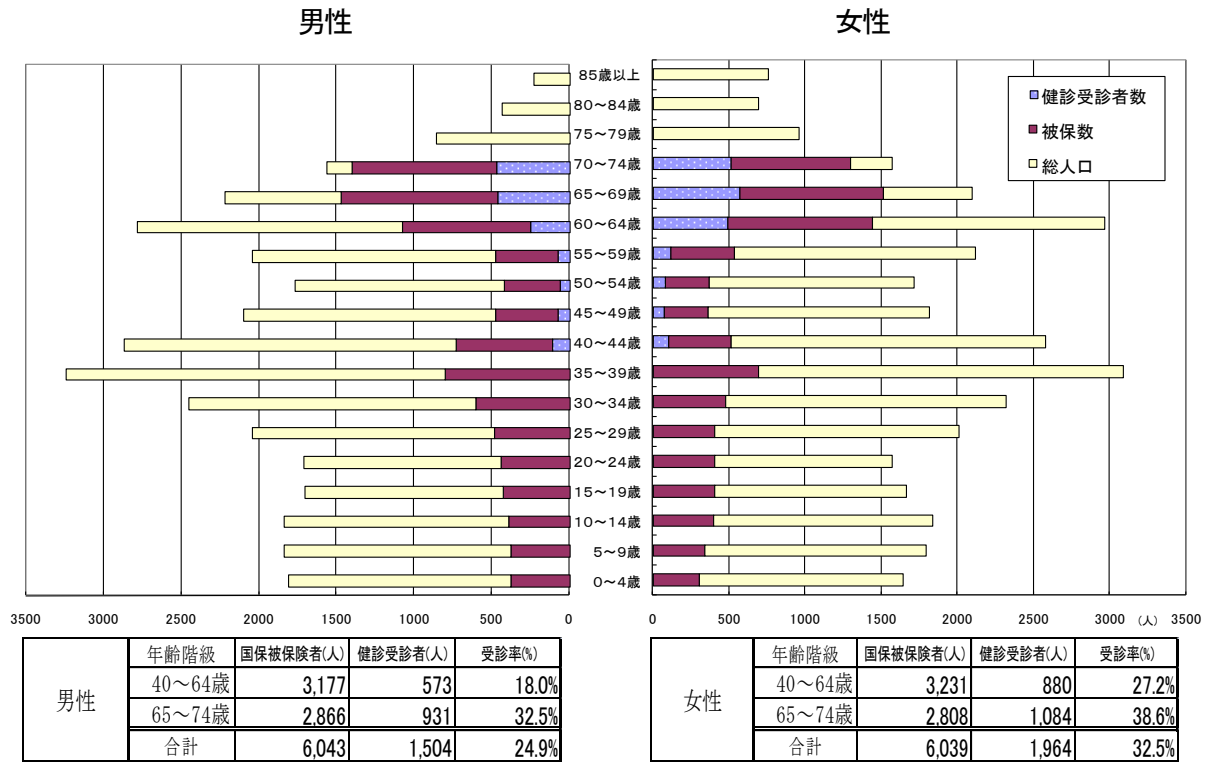
吉川市では、「高齢者の医療の確保に関する法律」の中で努力義務となっている、18歳から39歳までの市民の希望者全員に健康診査を実施しており、若い世代から健康診査を受け、保健指導を実施することにより、生活習慣病の発症予防、重症化予防に繋げることが今後も重要です。

表6 埼玉県国保（市のみ）における特定健康診査結果（平成22年度）

資料：埼玉県国民健康保険団体連合会

順位	特定健康診査				腎機能		メタボリックシンドローム				糖代謝				I度高血压以上				脂質異常		肝機能	
	受診率		保健指導実施率		尿たん白(+)以上		メタボ該当者		メタボ予備群		HbA1c5.2~6.0% (境界型)		HbA1c6.1%以上 (糖尿病型)		収縮期 140mmHg以上		拡張期 90mmHg以上		LDL120mg/dl以上		γ-GTP51以上	
	保険者名	割合	保険者名	割合	保険者名	割合	保険者名	割合	保険者名	割合	保険者名	割合	保険者名	割合	保険者名	割合	保険者名	割合	保険者名	割合	保険者名	割合
1	ふじみ野市	44.99	ふじみ野市	36.76	北本市	7.43	八潮市	21.89	吉川市	13.00	羽生市	73.2	さいたま市	11.32	幸手市	32.99	八潮市	14.25	東松山市	63.64	戸田市	18.10
2	桶川市	42.60	吉川市	35.98	越谷市	6.80	草加市	20.42	北本市	12.46	加須市	66.9	羽生市	11.13	新座市	32.06	富士見市	13.71	日高市	61.88	三郷市	17.98
3	春日部市	41.76	幸手市	31.40	戸田市	6.53	戸田市	19.30	鴻巣市	12.23	幸手市	66.3	加須市	10.60	八潮市	30.85	蕨市	13.61	入間市	61.55	朝霞市	17.59
4	狭山市	41.47	蓮田市	26.10	行田市	6.41	幸手市	19.06	桶川市	12.10	本庄市	65.6	富士見市	10.11	富士見市	30.05	新座市	13.26	飯能市	60.86	八潮市	17.42
5	所沢市	40.65	さいたま市	25.00	草加市	6.39	新座市	19.00	加須市	11.93	さいたま市	62.8	春日部市	9.90	羽生市	30.05	上尾市	13.21	鶴ヶ島市	60.76	蕨市	17.42
6	和光市	40.12	久喜市	23.16	坂戸市	6.25	越谷市	18.34	日高市	11.91	志木市	54.0	幸手市	9.69	蕨市	29.67	所沢市	13.09	所沢市	60.59	富士見市	17.29
7	富士見市	39.88	本庄市	22.20	富士見市	6.09	蕨市	18.26	行田市	11.73	熊谷市	53.9	八潮市	9.66	東松山市	29.36	飯能市	12.90	深谷市	59.87	川口市	17.09
8	鴻巣市	39.59	羽生市	21.12	桶川市	6.06	熊谷市	18.09	川口市	11.68	三郷市	52.6	ふじみ野市	9.51	加須市	29.31	川越市	12.89	志木市	59.55	飯能市	17.01
9	朝霞市	39.44	行田市	20.48	さいたま市	5.89	朝霞市	17.70	朝霞市	11.65	埼玉県	51.7	戸田市	9.44	飯能市	29.18	東松山市	12.89	富士見市	59.33	吉川市	16.99
10	上尾市	38.34	新座市	19.51	上尾市	5.84	久喜市	17.70	川越市	11.59	越谷市	49.8	朝霞市	9.27	志木市	29.12	川口市	12.85	さいたま市	59.17	和光市	16.81
11	蕨市	37.74	志木市	18.40	鴻巣市	5.78	富士見市	17.27	入間市	11.58	八潮市	49.0	蕨市	9.26	朝霞市	28.34	春日部市	12.77	秩父市	59.05	新座市	16.62
12	鶴ヶ島市	37.44	八潮市	17.01	吉川市	5.73	本庄市	17.01	富士見市	11.53	狭山市	48.5	和光市	9.13	狭山市	28.26	朝霞市	12.36	ふじみ野市	58.84	草加市	16.52
13	北本市	36.68	鶴ヶ島市	16.80	春日部市	5.66	春日部市	16.84	鶴ヶ島市	11.52	秩父市	48.4	本庄市	9.12	北本市	28.12	さいたま市	12.26	坂戸市	58.63	ふじみ野市	15.99
14	川越市	35.22	富士見市	16.19	川越市	5.52	吉川市	16.82	飯能市	11.50	蕨市	48.1	新座市	9.12	鴻巣市	28.10	三郷市	12.22	狭山市	57.95	所沢市	15.96
15	志木市	34.93	和光市	16.12	ふじみ野市	5.42	狭山市	16.80	久喜市	11.49	鶴ヶ島市	47.6	熊谷市	9.05	春日部市	27.95	志木市	12.17	川口市	57.73	入間市	15.91
16	戸田市	34.45	埼玉県	15.97	所沢市	5.34	志木市	16.62	所沢市	11.44	草加市	47.1	狭山市	9.03	ふじみ野市	27.74	羽生市	12.14	朝霞市	57.64	坂戸市	15.79
17	さいたま市	33.03	草加市	15.88	埼玉県	5.25	羽生市	16.49	坂戸市	11.33	飯能市	47.1	桶川市	9.02	川越市	27.67	埼玉県	11.89	上尾市	57.62	志木市	15.74
18	坂戸市	32.90	桶川市	14.50	東松山市	5.16	桶川市	16.28	春日部市	11.26	入間市	46.8	埼玉県	8.89	上尾市	27.57	行田市	11.82	行田市	57.56	春日部市	15.74
19	埼玉県	32.28	深谷市	14.23	久喜市	5.10	飯能市	16.05	新座市	11.14	蓮田市	46.6	志木市	8.59	久喜市	27.47	本庄市	11.69	埼玉県	57.52	埼玉県	15.61
20	羽生市	32.06	川口市	13.96	川口市	5.10	埼玉県	15.97	戸田市	11.09	富士見市	46.4	草加市	8.54	越谷市	27.14	狭山市	11.63	鴻巣市	57.44	狭山市	15.61
21	入間市	31.97	上尾市	13.15	志木市	5.08	和光市	15.92	和光市	11.06	吉川市	46.3	鴻巣市	8.47	日高市	27.09	北本市	11.52	久喜市	57.05	さいたま市	15.53
22	新座市	31.86	越谷市	13.03	蕨市	5.05	三郷市	15.75	上尾市	11.02	坂戸市	46.2	三郷市	8.45	草加市	27.04	日高市	11.43	桶川市	56.98	越谷市	15.45
23	越谷市	31.60	日高市	12.34	日高市	4.94	日高市	15.69	ふじみ野市	11.01	日高市	45.9	入間市	8.44	所沢市	26.83	入間市	11.21	川越市	56.90	羽生市	15.42
24	飯能市	30.89	鴻巣市	12.28	新座市	4.82	東松山市	15.52	熊谷市	10.96	新座市	45.7	坂戸市	8.37	埼玉県	26.79	加須市	11.18	新座市	56.14	川越市	15.17
25	幸手市	30.68	春日部市	12.23	入間市	4.77	ふじみ野市	15.48	埼玉県	10.95	所沢市	45.3	久喜市	8.32	川口市	26.49	越谷市	10.89	三郷市	56.09	日高市	15.08
26	草加市	30.37	朝霞市	11.81	飯能市	4.70	行田市	15.30	東松山市	10.94	春日部市	45.1	上尾市	8.30	秩父市	26.01	戸田市	10.79	春日部市	55.84	幸手市	14.94
27	蓮田市	30.18	北本市	11.13	朝霞市	4.68	加須市	15.29	羽生市	10.84	ふじみ野市	44.6	鶴ヶ島市	8.20	さいたま市	25.49	和光市	10.59	幸手市	55.79	加須市	14.90
28	吉川市	29.27	戸田市	10.94	鶴ヶ島市	4.65	上尾市	15.20	草加市	10.70	上尾市	44.4	川越市	8.12	桶川市	25.38	幸手市	10.55	熊谷市	55.77	上尾市	14.90
29	日高市	28.11	坂戸市	10.80	熊谷市	4.40	川口市	15.18	深谷市	10.68	久喜市	43.9	吉川市	8.05	熊谷市	25.00	熊谷市	10.49	蓮田市	55.30	桶川市	14.74
30	久喜市	27.55	熊谷市	9.97	八潮市	4.39	川越市	15.09	さいたま市	10.65	戸田市	43.8	所沢市	7.94	戸田市	24.98	ふじみ野市	10.28	本庄市	55.18	行田市	14.71
31	深谷市	26.68	秩父市	9.19	和光市	4.19	北本市	15.05	幸手市	10.31	東松山市	43.7	北本市	7.93	行田市	24.64	久喜市	10.26	加須市	54.85	久喜市	14.62
32	八潮市	26.66	川越市	8.21	狭山市	4.10	所沢市	14.98	志木市	10.08	鴻巣市	43.2	越谷市	7.87	三郷市	24.58	蓮田市	10.09	戸田市	54.77	蓮田市	14.47
33	行田市	24.44	東松山市	8.08	幸手市	3.80	蓮田市	14.96	狭山市	9.92	北本市	42.8	川口市	7.81	入間市	24.15	草加市	10.01	和光市	54.40	北本市	14.33
34	本庄市	24.34	狭山市	8.06	羽生市	3.80	鴻巣市	14.52	越谷市	9.68	深谷市	42.8	飯能市	7.53	蓮田市	23.96	行田市	9.74	羽生市	54.39	鴻巣市	14.05
35	東松山市	24.11	蕨市	7.03	三郷市	3.61	さいたま市	14.39	八潮市	9.67	朝霞市	42.0	日高市	7.13	本庄市	23.80	吉川市	9.74	北本市	54.34	秩父市	13.86
36	川口市	23.99	所沢市	6.93	加須市	3.34	鶴ヶ島市	14.09	三郷市	9.42	川越市	41.8	東松山市	6.86	坂戸市	22.75	桶川市	9.64	越谷市	54.20	鶴ヶ島市	13.74
37	加須市	23.71	入間市	6.42	蓮田市	3.25	深谷市	13.89	秩父市	9.39	川口市	41.0	深谷市	6.32	吉川市	21.88	秩父市	8.73	吉川市	54.12	熊谷市	13.68
38	三郷市	23.12	加須市	4.41	本庄市	2.62	坂戸市	13.87	蕨市	8.95	桶川市	39.9	蓮田市	6.24	鶴ヶ島市	20.51	深谷市	8.62	蕨市	53.71	本庄市	13.59
39	秩父市	21.19	三郷市	3.94	秩父市	2.55	入間市	13.58	蓮田市	8.77	和光市	36.4	秩父市	5.72	和光市	20.46	坂戸市	8.24	草加市	53.35	深谷市	13.40
40	熊谷市	20.84	飯能市	3.84	深谷市	2.29	秩父市	13.34	本庄市	8.07	行田市	19.3	行田市	4.13	深谷市	20.23	鶴ヶ島市	8.05	八潮市	51.03	東松山市	12.93

図5 吉川市総人口のうち吉川市国保被保険者数・健診受診者数（平成23年度）



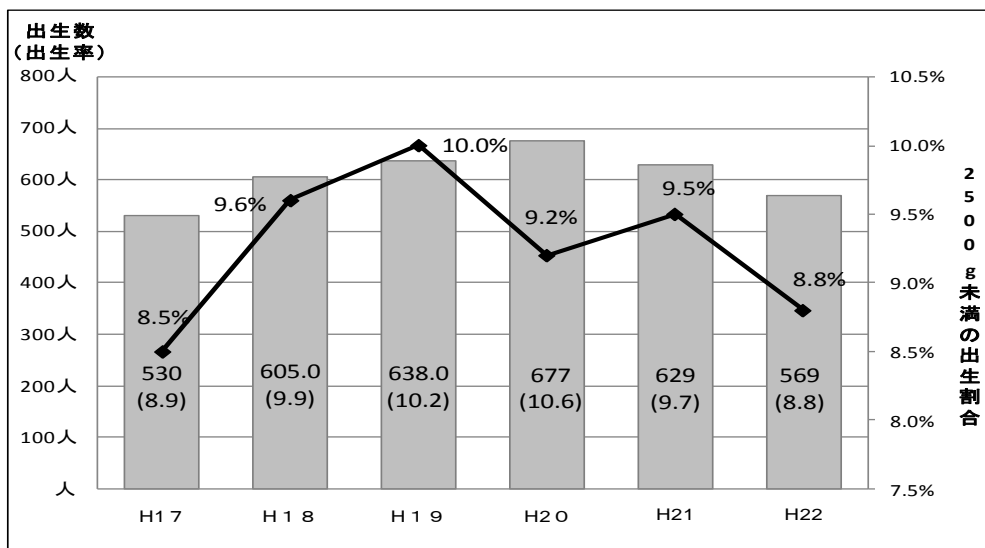
資料：人口動態統計・吉川市国保特定健康診査結果

(7) 出生

吉川市の出生率（人口千対）は平成20年に10.6となりましたが、以降、減少傾向にあり、平成22年度は8.8になっています。出生時の体重が、2,500g未満の低出生体重児については、神経学的・身体的合併症の他、成人期になり、糖尿病や高血圧等の生活習慣病を発症しやすいとの報告が出されました。

吉川市でも、毎年8～10%の低体重児が出生していることから、妊娠前・妊娠期の健康づくりに努めていく必要があります。（図6）

図6 吉川市の出生数・出生率及び低出生体重児（2,500g未満）の出生割合の年次推移



【棒グラフ】出生数・（ ）内は出生率 【折れ線グラフ】低出生体重児(2500g未満)の出生割合

資料：人口動態統計・保健統計

3. 市の財政状況に占める社会保障費

吉川市においては、平成24年度予算において、医療、介護、生活保護の社会保障費は、約114億円になっています。(図7)

今後さらに高齢化が急速に進展する中で、いかに吉川市の社会保障費の伸びを縮小するかが、大きな課題となってきます。

序章でも触れたように、疾病による負担が極めて大きな社会の中で、市民一人ひとりの健康増進への意識と行動変容への取り組みが支援できる、質の高い保健指導が求められてきます。

図7 吉川市の財政状況と社会保障費

歳入（一般会計）		歳出（一般会計）	
22,222,846 千円 (H23 決算)		20,965,979 千円 (H23 決算)	
1位	市税 8,681,572 千円	1位	民生費 6,930,213 千円
2位	国庫支出金 3,035,754 千円	2位	土木費 4,106,525 千円
3位	分担金及び負担金 1,917,713 千円	3位	教育費 2,598,829 千円

社会保障費

	医療	介護	生活保護
H24 予算	7,742,254	2,760,736	921,848
11,424,838 千円	千円	千円	千円

資料： 国民健康保険特別会計予算及び後期高齢者医療特別会計予算（医療）
介護保険特別会計予算（介護）